

【埼玉わっしょい大使 米澤 麻里絵】

0:00

今回は埼玉県吉見町にやってきました。

とってもいちごがおいしい吉見町。なんと埼玉県のブランド「いちご」があるそうで、今日は新品種もご紹介しちゃいます。それでは早速行ってみましょう。

0:17

それではご紹介しましょう。加藤さん（吉見農産物直売所 加藤 秀一 所長）です。よろしくお願ひします。

【吉見農産物直売所 加藤 秀一】

0:21

よろしくお願ひします。

【埼玉わっしょい大使 米澤 麻里絵】

0:22

こちらではどんなものが売ってるんですか。

【吉見農産物直売所 加藤 秀一】

0:24

主に地元の農産物ですね。

【埼玉わっしょい大使 米澤 麻里絵】

0:27

特にお勧めでこの季節良いものがあると聞いたんですが。

【吉見農産物直売所 加藤 秀一】

0:30

今の時期はやっぱり「いちご」がイチオシですね。

【埼玉わっしょい大使 米澤 麻里絵】

0:33

はい。種類はどんなものがありますか。

【吉見農産物直売所 加藤 秀一】

0:36

種類は「とちおとめ」「やよいひめ」「紅ほっぺ」「あまりん」「かおりん」が、やっぱり今のところ1番多いですね。「あまりん」「かおりん」は1番が人気があります。

【埼玉わっしょい大使 米澤 麻里絵】

0:48

そして、こちらの直売所のおすすめポイントがあれば教えてください。

【吉見農産物直売所 加藤 秀一】

0:52

ご覧のとおり広場とかもあるんで、小さいお子様連れでも十分楽しめます。また、同じ道の駅敷地内で、道の駅、また、アイスクリーム屋さんもあるので、買い物がてら遊びも可能です。ファミリーでも楽しめます。

【埼玉わっしょい大使 米澤 麻里絵】

1:12

今日はその素敵なお「いちご」を特集していきたいと思います。よろしくお願いします。

【吉見農産物直売所 加藤 秀一】

1:17

よろしくお願いします。

【埼玉わっしょい大使 米澤 麻里絵】

1:19

埼玉の「いちご」のほかに研修生も育てている横田農園さんに来ました。ご紹介しましょう。横田農園さんです。今日はよろしくお願いします。

【埼玉県農業技術研究センター 内田 裕也 技師】(所属は取材時)

1:29

よろしくお願いします。

【埼玉わっしょい大使 米澤 麻里絵】

1:31

こちらでは埼玉県産いちごを栽培されているということで、今日は研究センターの内田さん(埼玉県農業技術研究センター 内田 裕也 技師)に詳しくお伺いしていきます。まず、「あまりん」「かおりん」について教えてください。

【埼玉県農業技術研究センター 内田 裕也】

1:42

「あまりん」「かおりん」の特徴は、まず、はじめに美味しいというのが一番の特徴になり

ます。他の県の品種よりもですね、量はちょっと少なめ、控えめにはなってしまうんですけども、その分甘みが詰まった、ぎゅっと濃縮されたような、おいしい「いちご」というのが一番の特徴になっています。

【埼玉わっしょい大使 米澤 麻里絵】

2:04

育ててみていかがですか。

【横田農園 横田 進】

2:06

あまりんは、あの非常に形がいいですね。おいしいだけでなく。だから生産性はいいと思います。収量的には、ちょっと落ちるところありますが、その分、秀品率が高いので、いいんじゃないかなと思います。

【埼玉県農業技術研究センター 内田 裕也】

2:24

埼玉の特徴として、観光農園、横田農園さんのような直売であったり、庭先で販売されたり、また、いちご狩りをするような施設がたくさんあるというのが埼玉の「いちご」の特徴ですし、良さだと思っています。秩父をはじめ、吉見であったり、たくさんいちご狩りができるスポットがありますので、ぜひお調べいただいでですね、埼玉の「いちご」を直に食べていただきたいなと思っています。

【埼玉わっしょい大使 米澤 麻里絵】

2:55

作り手として、こだわっている部分は、どんなところですか。

【横田農園 横田 進】

2:59

なんといっても味です。吉見町の風土ですね。日差しと乾いた冷たい寒気、それから肥沃の土壌ですね。これを使った「いちご」を作ると非常に美味しい。「いちご」だけじゃないんですけども、他の農産物も非常に美味しいんですけど、体は大変ですよ。なんにしても体は大変。でも、やっぱり美味しいのを作ってお客様に喜んでいただけるっていうのが私の励みにもなっているので、ぜひこれをね、若い人たちに体験してもらいたくて、一生懸命教えているところですよ。

【埼玉わっしょい大使 米澤 麻里絵】

3:38

最後に、「あまりん」と「かおりん」の魅力的なポイントを、改めてお願いします。

【埼玉県農業技術研究センター 内田 裕也】

3:42

「あまりん」は形も良いということで、また、綺麗な赤色であって艶も良く綺麗に見えて、且つ形がいわゆる「いちご」らしい形というのが特徴で、食べていただいても非常に味も濃厚でおいしいと思いますので、ぜひ一度手にとって食べていただけたらなと思っています。

【埼玉わっしょい大使 米澤 麻里絵】

4:05

皆様に一言メッセージをお願いします。

【横田農園 横田 進】

4:07

吉見町のおいしい農産物をですね、たくさん購入していただいて、若い生産者の人たちを応援していただけたら、産地がですね、伸びていけるとと思いますのでよろしくお願ひしたいと思います。

【埼玉わっしょい大使 米澤 麻里絵】

4:24

ありがとうございました。

【埼玉わっしょい大使 米澤 麻里絵】

4:27

最後はとっても貴重なイチゴの場所にやってきました。最近、新しく埼玉県の「いちご」に新品種ができたそうです。内田さんご紹介お願いします。

【埼玉県農業技術研究センター 内田 裕也】

4:40

はい。「あまりん」「かおりん」次ぐ新たな品種ということで「べにたま」という名前で、新しい品種を登録させていただきました。「べにたま」の特徴としましては、「あまりん」「かおりん」の欠点とされていた、収量が少ないということを克服し、クリスマス前からですね、しっかりと収穫でき、美味しさは「あまりん」「かおりん」と同じようなおいしさを持っているというのが大きな特徴になります。

【埼玉わっしょい大使 米澤 麻里絵】

5:09

実際に見た目もどのようなものなのでしょうか。

【埼玉県農業技術研究センター 内田 裕也】

5:13

見た目はですね、きれいな紅、艶も強く、「あまりん」「かおりん」と同様にですね、形が崩れることがないというのが良い特徴になっています。「べにたま」になる前、いちご彩6号という形で品種登録する前の状態の時にですね、吉見町さんで実際に作っていただき、生産者の方に作っていただいて、この系統を品種にするかどうかというのをですね、判断してもらった試験を2年ほど協力していただいて、その際にですね吉見町の生産者の方から、「これはいい。品種にするべきだ。」という声をいただいてたということもあってですね、「べにたま」という形で品種をお披露目することができましたので、この「べにたま」はですね、吉見町のみなさんの協力あつての品種になっています。

【埼玉わっしょい大使 米澤 麻里絵】

6:09

はい。こちらの「べにたま」、まずは感想を教えてください。

【篠田農園 篠田 邦広】

6:14

大変いい「いちご」だと思います。収量も多く、作るのにちょっと大変なところがありますがけども、すごくいい「いちご」だと思っています。

6:26 (新品種で気をつけている部分)

内田さんから教えてもらって、その温度管理、かなり涼しいところでも大丈夫だということで、ハウス開けるのも、2月中には開けるような感じの「いちご」なので、かなり寒さに強いんだなという印象を持って作らせてもらいました。

6:46 (苦労した点は?)

かなり葉っぱが大きいので、その葉っぱをかくのも大変なんですけど、病気にしたらかわいそうなので、そのタイミングを見ながら、葉っぱかきをしたりするのが大変でした。

7:02 (新品種べにたまへの思い)

これが良い品種だと思うので、すごく収量が取れば、これから主流になるんじゃないかなと思っています。

【埼玉わっしょい大使 米澤 麻里絵】

7:10

味的にはどうですか。

【篠田農園 篠田 邦広】

7:11

かなり美味しいと思います。まあ、ぜひ食べてみてください。

【埼玉わっしょい大使 米澤 麻里絵】

7:15

はい。ありがとうございます。それでは新しい新品種の「べにたま」、早速いただきましょう。

7:24

わあ、大きい。一粒がとっても大きいです。いただきます。んー、肉厚、ジューシーで美味しいです。果汁が溢れる。何よりもとっても華やかで柔らかいです。

【埼玉わっしょい大使 米澤 麻里絵】

7:49

今回は埼玉県ブランド「いちご」をご紹介しました。お求めの際は、事前の確認がおすすめです。「べにたま」は一部の量販店のみでの販売なので、詳しくポータルサイト「SAITAMA わっしょい！」をご確認ください。

8:04

埼玉西の情報発信中。フォローをしてくだ埼玉。